

それぞれ新生活が始まった1ヶ月でした。目標を立て日々頑張っています。



新年度

園長 藤本光世

新年度がスタートしました。

今年度は、新しい学校に進学した子がとても多いのが特徴です。高校へ3人、中学へ6人、小学校へ1人と合計10人が新しい生活になりました。慣れるまで不安定で、先生方のご指導ご支援が必要です。先生方、よろしく願いいたします。

私は、毎朝愛育園に行きます。おまいりが始まる6時より少し前に行って、早くから談話室に来ている子どもたちにあいさつをして、ご本尊様のお地藏さまの前に座り、子どもたちが入ってくるのを待ちます。子どもたちが見えると、こちらから挨拶をかけます。「〇〇ちゃん、おはようございます。」その時の、子どもたちの様子を見ます。子どもたちの心が見えます。顔つきはどうか、挨拶を返してくれるかな、声の大きさはどうか、笑顔はあるかな、と一人一人をみます。早く入ってきた子は書棚から本を出して読んでいます。先生の膝に乗っている子もいます。そのうち、まごころの幼児さんや小さな子が入ってきます。「おはようございます。」と大きな声で、とびついてきます。私の背中に乗ります。膝の上に乗ります。ゆすってやると喜んでいきます。本を読んでやることもあります。子どもたちの動きをみると、その日の心の調子が分かります。幼児さんを見る大きな子の様子にも、大きな子の心が表れます。

先生が、「本をしまっ」と言います。それがおまいりを始める合図です。急に静かになります。鐘と木魚の当番の子が前に出ます。新年度になって、小学校二年生の子が「鐘」をやるようになりました。鐘は難しいです。般若心経で鐘を打つ場所があります。本尊上供の回向の中で鐘を打つ箇所があります。「十方三世・・・」で鐘を打たなければなりません。「朝のお誓い」もリードしなければなりません。初めての子は一生懸命です。それを、周りの子が温かく待ってくれています。初めてでもだいたいできるのがすごいですね。

般若心経の声で、その日の子どもたちの心の様子が分かります。私は、前を向いているので、子どもたちの様子は見えません。でも、声で分かります。大きな声かな、小さい子だけが出しているのかな、どちらから響いてくるかな、そんなことを感じ取っています。

おまいりが終わるとお話です。今日は昭和の日のお話をしました。昭和はどんな時代ですか。後

世の人は戦争の時代というかもしれません。昭和天皇は、未曾有の大きな戦争を経験されました。明治憲法では交戦権は天皇にありました。天皇が押印して戦争が始まったのです。でも、天皇の決定は内閣の輔弼によるのです。日本は戦争に負けました。連合国最高司令官マッカーサーが日本へ来ました。天皇陛下があいさつに行きました。その有名な写真があります。天皇陛下はモーニングを着て直立不動で立っています。マッカーサーは平服でリラックスしているのです。勝者と敗者です。この時、マッカーサーは天皇が命乞いをすると思ったのです。でも天皇陛下はしませんでした。自分の身はどうなってもいいから日本を復興させてほしいと頼んだのです。ここで、マッカーサーは日本の国を知りました。なぜ、大勢の日本人が国のために亡くなったか、特攻隊までして亡くなったかが分かったのです。天皇陛下と国民の強い絆が分かったのです。

こんな難しいお話を、幼児さんから高校生までの子どもたちは、じっと私の目を見て聞いてくれました。すごいなあと思います。だからお話ができます。

私のお話が終わると、後ろに座った先生のお話です。子どもたちは向きを後に変えて、先生のお話を聞きます。この時、靴下の穴が見えます。先生にお願いします。〇〇ちゃんは靴下に穴があいてますよー。穴が開いている子は気まずそうです。膝に穴が開いている子がいることがありました。これも、先生にお願いします。「あの子は施設の子だから・・・」と見られるのは、絶対にいけないのです。先生方には、ワイシャツの襟元や袖口の汚れを見逃さないこと、ハンカチや小ざっぱりした洋服など、子どもたちの細かなところに気が付く職員になってほしいとお願いします。

おまいりが終わると、はきものをそろえる碑の前に移動して、「はきものをそろえる」を唱和します。この唱和のリーダーを小学校の子がつとめます。二年生になったばかりの子が、つかかり、つかかり言います。そのあと、みんなで唱和するのです。シュプレヒコールの方法と同じです。小さな子「はきものをそろえると心もそろろう」→全員「はきものをそろえると心もそろろう」といった調子で「そうすればきっと世界中の」「人の心もそろうでしょう」までやります。次の言葉が出なくても、みんな待っていてくれるのにおもいやりの心を思います。こうした経験を通して子どもたちは成長します。

こうして朝食になります。朝食では食前の言葉を唱えてから「いただきます」をして「食後の言葉」と唱えて「ごちそうさま」をします。残食はありません。出されたものはみんな美味しくいただきます。食事が早く終わった子どもたちは、先生の膝の上に乗ったり、背中におぶさったりしています。そんな光景も私は好きです。



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

創立以来、73年間欠かさず繰り返している朝の様子です。朝の様子に、子どもたちの心が表れます。愛育園の心が表れます。先生方と子どもたちの関係が表れます。毎朝、全員の子どもたちが参加して、大きな声の般若心経や「はきものをそろえる」が響くと、私も気持ちよく嬉しくなります。全員の子が大きな声で、リラックスして唱和して、朝のひと時を過ごせますように。

連休

新型コロナウイルスの感染拡大で5月の連休の帰省は無くなりました。全員が園で過ごします。例年は、飯綱高原にバーベキューに行っていたのですが出来ません。中高生と職員は上山田から善光寺までの「牛にひかれて善光寺参り」の約30キロの強歩に参加していたのですが、実施されません。ですから、5月2日の見学会は子どもたちにとって大きな行事となりました。今朝(4/29)の食事の時に、大きな子が幼児さんに「2日はお客さんがたくさん来るから、お利口にしてるんだよ」と論しているのを見ました。子どもたちはお客さまを迎える心になっているのですね。

3日には、園内でホーム食をすると聞きました。連休の午後は公園にも連れて行って遊ばせると聞きました。先生方よろしくお願ひしますね。川遊びにも行くのかな。釣りにも行くのかな。最近になって、お誕生日祝いに買ってもらった釣竿をもって、大きな子がたびたび釣りに行くので、釣れましたかと聞くと、去年の学校の臨時休業中にN君が大きな鮒を釣って、それ以来釣れてないとのこと。連休中に釣れると良いですね。

愛育園は大きな家庭で、子どもたちが集団で育っているのです。昔の子どもたちのように群れてたくさん遊びができます。ここが、愛育園の強みです。子どもたちは大勢で思いっきり遊んで心を満たします。先生方もそれを知っていて、一緒にたくさん遊んでくれています。感謝です。

先生方、自分から進んで、自分で考えて、たくさん仕事をしてくれてありがとうございます。

高校に入学して

あおぞらホーム長 富沢正樹

3月の高校受験に無事合格し、あおぞらホームでは新たに1名の男の子が高校生活を始めています。昨年度、H君は受験生として一年間とても勉強を頑張りました。

H君の夢は学校の先生になる事です。その為に大学進学を目指して毎日何時間も勉強していました。しかし、なかなか点数が上がらず、H君はかなり苦しんでいました。H君には2つ弱点がありました。それは、わからない問題を質問できない事とできる問題ばかりを何度も解いてしまう事です。H君は自分でその弱点に気づきながらも、人に聞いたり、難しい問題に挑戦したりする勇気がどうしても出せませんでした。だからこそ余計に苦しかったのだと思います。

それでもH君は勉強をやめませんでした。朝から晩まで勉強していました。普通これだけ点数が

(令和3年5月10日発行 月刊「円福」488号付録)

伸びなかったら投げ出してもおかしくないし、自分の弱さを認めるのは誰でも嫌な事です。だから、気持ちが切れてしまっても仕方ないと思っていました。

そのまま点数は伸びず、H君は志望校合格に届かない状態で受験1か月前を迎えました。心配した私は、担任の先生とH君の3者で進路変更の相談をしました。私は、勉強自体はよく頑張っていたし合格しなかったら元も子もないからレベルを下げてもいいんじゃないかと思っていました。でも、H君は「篠ノ井高校を受けたいです。」と、迷わず言い切りました。担任の先生は「そこまで言い切るなら、もっと積極的に質問に来なさい。そうすればたった1ヶ月でもまだ伸びるし、チャンスある。」と背中を押しました。私も、H君が自分の意志で「志望校を変えない」と決めた事がとっても嬉しくなってしまう、そのまま篠ノ井高校を受験する事になりました。

その日からH君はちょっとだけ学校の先生や友人に質問するようになり、ちょっとだけ難しい問題に挑戦するようになりました。そしてその結果、見事に篠ノ井高校に合格する事ができました。何よりうれしかった事は入試本番の点数が総合テストの平均点より50点も高かった事です。何が原因だったのだろうと考えました。地道に努力を続けた事かな？内面的な課題に勇気を出して向き合った事かな？自分の意志を持って臨んだことかな？あれこれ考えましたが、どれもH君の発揮した力だと思うと心から嬉しかったです。H君もとても喜んでいました。

すでに高校生活をスタートさせているH君。夢を叶えるための大学進学に向けて歩みを止めず突き進んでいてもらいたいと思っています。私もできる限り支えていきたいです。

高校に入学して



まごころホーム 竹内早季

今年度、私の担当が1名高校に入学しています。中3の時から引き続き担当になりました。受験の時、かなり緊張していたAさんですが、無事に高校入学を迎え、晴れやかな表情で入学式に参加することができました。同じクラスに同じ中学の友人もいたようで安心していました。制服を着ると高校生らしく見え、月日が経つのは早いなあと感じました。入学にあたって、Aさんとは中学と高校の違いについて話をしています。高校になれば自分の行動に今まで以上の責任が伴ってきます。自分で選んで頑張って入学した学校であり、将来の夢に向かって進路を考える場でもあります。Aさんにはぜひ、一つ一つ丁寧に一生懸命頑張って高校生活を充実したものに

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

してもらいたいです。そのために何か困ったことがあれば相談しながら一緒に頑張れたらと思います。

中学に入学して

あおぞらホーム 石龍成己

春の日差しが心地よくなる季節になってきました。今年度あおぞらホームの子は、昨年と同じく3名の子が中学へ入学しました。真新しい制服を着て、入学式に向かいました。まだ小学生を卒業したばかりなのか、緊張よりも好奇心が強いように送りの車内では感じましたが、中学に着いてからは、みんな制服だからか少し緊張している様子でした。中学へ入学して、それぞれの目標を聞いてみました。M君は勉強と部活を頑張りたいと言っていました。テストでは450点以上、部活はバスケット部に所属したいとのこと。テストで高得点を維持し、部活を両立していくことはとてもハードルが高い事だと思いますが、スタートの所としては毎日を大切に今の所は生活できていると感じますので、目標の実現へ向け頑張りたいと思います。今年度の中1は部活に入りたいと思っている子がとても多いです。野球やバスケットといった部活動です。でもただ入りただけではいけません。今までの子の中にも何人もいましたが、園の生活がしっかりできていない結果、部活も上手くいかなかったり、園の生活も乱れてしまうのです。園の生活がしっかりできてる上で、本人から直接入部させて下さいと決意表明をする。そうすることによって、部活も生活の一部としてしっかり取り組めるのかなと思います。

中学生になりたてで、まだまだ小学生の延長かなと思う様子もありますが、一つ皮をむけようとそれぞれが一生懸命に生活している事は伝わってきます。3年間の始まりの1年生、卒業するまで、何か崩れてしまうことがあっても、今頑張った姿を本人たちに思い返させられるよう、日々サポートしていきたいと思います。

中学に入学して



まごころホーム 橋本雅

今年度、まごころホームでは3名の子が中学校に入学しました。入学式当日、新しい環境に緊張していました。クラス発表を見て、同じクラスの友達と少しずつ話ができるとホットしたようで笑顔になっていました。入学式では、緊張しながらも堂々とした姿に頼もしさを感じました。入学してから毎日元気に登校して少しずつ中学校生活に慣れてきたように感じます。子供たちから、学校の様子の話が沢山出てきてとても嬉しそうで、私自身も安心しました。最近では、部活動見学や仮入部などがあり部活動に真剣に考えている姿があります。環境が変わり、新し

(令和3年5月10日発行 月刊「円福」488号付録)

いことに挑戦することが多いですが一緒になって考えて子供たちを支えていきたいと思います。中学校3年間で沢山のことを学び成長していけるよう、普段の学校生活の様子を沢山話していきながら充実した学校生活が送れるよう応援していきたいと思います。

あおぞら児童 1学期の目標

私が1学期頑張ろうと思っていることは、アルバイトで、仕事内容をしっかり覚えて、迷惑をかけないように一生懸命働くことと、学校できちんと授業を受けて単位不認定にならないように真面目に授業を受けることです。アルバイトではまだ少ししかやってないけど、店長さんや色々な人に迷惑ばかりかけてしまっています。僕は覚えることがとても苦手なのですが、言われたことなどをきちんとメモをとったりもう一度聞いたりして迷惑をかけないようにこれからもアルバイトを頑張ってやっていきたいです。

(高2・N君)



私が1学期に頑張りたいことは3つあります。1つ目は園の生活です。特に頑張りたいことがお参りとあいさつです。お参りでは、大きな声でやっている時もあれば声が小さい時もありました。なので、毎日大きな声でやりたいです。2つ目は勉強です。自分は1年生の時を見返してみたらテストをやるごとに点数が下がっていました。その理由は決められた勉強時間を集中して取り

組めていなかったからです。やることが終わったからと言ってぼーっとしている時間がありました。なので、決められた勉強時間を集中して取り組んで、1年生の時に苦手としていた教科を克服してテストの点を上げられるように頑張りたいです。3つ目は部活です。部活では6月で3年生の先輩が引退して、自分達が後輩を引っ張っていく番なので残り少ない先輩達の姿を見習っていきたいです。1日1日の野球時間を大切にして自分の目標の県大会ベスト4まで行けるように頑張りたいです。

(中2 Y君)



ぼくの1学期の目標は、勉強を頑張ることです。ぼくは、算数がにがてなので特にがんばりたいです。わからないことは先生にきき、わからないことを少しでもへらしていきたくです。勉強いがいでは、園や学校でともだちとケンカすることなくなかよく遊ぶことができるようになりたいです。

(小4・T君)

まごころ児童 1学期の目標 一年の抱負



私の一年間の目標は主に四つあります。その中でも最も頑張りたいことは、先生を困らせないという事です。最近わがママを言ってしまった時に、T先生と話して「人に好かれることをしなさい」と言われました。確かに私は今まで自分の思い通りにやってきたのですが、T先生と話をしてからは自分にとって得になることが沢山見つけられました。なので、先生を困らせないでたくさんお手伝いをして人から好かれる人になりたいと思いました。それは、園の中だけに限らず、外でも人を困らせないで助けてあげるなど、

感謝してもらえる人になれたらいいなと思いました。

(高1・Aさん)

私の一学期の目標

私の一学期の目標は3つあります。その中の1つである、勉強で特に苦手な数学をあきらめずに決められたことは最後までやることです。

なぜかと言うと、私はたまに学習の時間苦手な数学を、全く考えずに「ここ教えてください」と言ってしまうことが多いし、自分で「ここまでやる」と決めたのに結局イライラしてすねてしまうことがあるので、まず分からないと思ったら教科書で調べて、それでも分からなかったら先生に聞くようにしたいと思います。

目標を一学期だけでなく、一年間この目標と残りの2つも忘れずに努力していきたいです。

(中1・Hさん)



わたしの目ひょうは、ともだちにやさしくすることと人がうれしくなることをしたいです。人にやさしくするためには、だれかがこまっているときに手つだってあげたいです。

あいさつを大きいこえでしたり、ともだちとけんかしたりしたときすぐ「ごめんなさい」をいえるようになったら、ともだちもわたしもうれしい気持ちになるとおもいます。ほかにも、あいいくえんの生かつで、あさ早くおきておはようございませをいったり、お手つだいも自分からやりたいです。

この目ひょうで二年生をがんばります。



(小2・Rさん)

愛育園の職員になって

栄養士兼調理員 内山さくら

昨年度3月に松本大学を卒業し、今年度4月から栄養士兼調理員として愛育園の職員となりました内山さくらと申します。4月からあつという間に1か月が経ちました。

私は仕事を通じて、「食」の面から子供たちに寄り添い、サポートしていきたいと考えております。そして何より、子供たちと一緒に「食」を楽しみたいと願っております。

最近では、子供たちが美味しそうに食事をしている姿や、「おかわりください」とカウンターにお皿を持ってくる姿を見て、子供たちにとって食事は一つの楽しみだと感じました。それと同時にやりがいのある仕事だと実感しております。これから様々な行事や日々の食事を通じて、子ども達と一緒に「食」を楽しみたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



少年野球発足式

あおぞらホーム 金井雄大

4月10日、令和三年度の少年野球の発足式がありました。今年度は女子がおらず、男子のみのチームです。また、昨年6年生が5人も抜けたことで、戦力としてもかなり不安がある所です。発足式の前に今年の6年生で集まり、誰がキャプテン・副キャプテンをやるか決めました。正直誰もやりたくないかなと思っていたら、すぐに立候補しあつという間にキャプテン・副キャプテンが決まりました。発足式では、それぞれの子が今年一年の目標を発表し、前年度の課題を克服したい子、年下のお手本になれるよう頑張りたい子などおりました。目標が言うだけのもので終わらず、達成できるように頑張り、またそれを支えていけたらと思います。

あおぞらホームだより



あおぞらホーム 大山豊彦

新学期から1ヶ月が経ち、進級・進学した児童たちも本格的に学校の授業が始まりました。愛育園では毎日子ども達が学校での出来事を話に来てくれて、児童たちが楽しく学校生活を送れているようで嬉しいです。また、少年野球でも練習に一生懸命取り組んでおり、毎日キャッチボールをしたり、練習がない日でもグラウンドに行つてバッティング練習をしたりしています。一人一人が何

か一生懸命になれるものが出来始め、愛育園の子ども達も本当に頑張る力があるなと感じています。

私たち職員も子ども達の成長を大きく手助けできるよう、日々精一杯子ども達と関わって楽しい思い出や苦しいことを一緒に乗り越える体験を共有していきたいと思います。



まごころホーム 宮澤徳香

今年はずいぶん早く、ももの花が一気に咲いて、賑やかな春になりました。新学期がスタートし、新たな環境で学び始めた子どもたちがたくさんいます。入学式の日、晴れやかな希望に満ちた表情が印象的でした。毎日、大きなランドセルを背負って「いってきます！」と言って出ていき、「頑張ってるよ」と帰ってくる姿に成長を感じています。

まごころホームだより

(令和3年5月10日発行 月刊「円福」488号付録)

また、進級した子どもたちは、登校中に一年生の面倒を見てくれたり、「もうお姉さんだから自分でやる」と言って意欲的に取り組む姿もまた、成長を感じます。

これから本格的に勉強が複雑になり、テストもあります。子どもたちとよく話をしながら、つまづきを無くしていけるよう、一人一人に合った支援をしていきたいと思っています。休みの日は、みんなで公園に行つて桜を見たり、活発に遊んでいます。日々の学校生活の息抜きになったらと思っています。頑張りすぎてもうこともあるため、体調管理にはよく気を配っていききたいと思っています。



調理室だより

調理員 加藤のぶ子

春が足早にやってきて4月に入るとお花が一気に満開になりました。調理では新しく栄養士の先生を迎え新年度がスタートです。またどんなメニューが加わるか楽しみです。

子供達も一つずつ進級しました。特に真新しい制服を着ると、すっかりお兄さん、お姉さんの顔になります。充実した学校生活を送れるよう、心を込めて、食事を作



り、応援したいと思います。

4月は入学・進級、5名の誕生日会がありました。

2日 Hさん誕生日メニュー

スタ丼・カリカリポテト・さけチーサラダ・チーズケーキ

3日 Uさん誕生日メニュー

ドリア・鶏の唐揚げ・ポテトチップスサラダ・ヨーグルトケーキ

6日 Aさん誕生日メニュー

手巻き寿司・カプレーゼ・チーズケーキ

10日 入学・進級祝いメニュー

お赤飯・串カツ・なばなのおひたし・コーンバター・デザート

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和3年5月10日発行 月刊「円福」488号付録)

- 19日 Sさん誕生日メニュー
ソフト麺・チキン南蛮・シーザーサラダ・アップルパイ
- 23日 S君誕生日メニュー
カツ丼・春雨サラダ・抹茶パフェ

